



衝撃の 111 位!! 何とかしたいと思いませんか!

2016 年の日本の男女格差指数 (GGGI) は 111 位

2015 年の 101 位からさらに後退しました。

この格差改善に向け、知恵を出し合いましょう! ご参加・ご協力を!

日時 2017 年 2 月 25 日 (土) 13:30~16:30

会場 婦選会館 2F 会議室 渋谷区代々木 2-21-11

アクセス <http://ichikawa-fusae.or.jp/access/index.html>

第 1 部 13:30~15:50 パネルトーク&

参加者とのディスカッション

第 2 部 16:00~16:30 交流会

ジェンダーギャップ指数(The Global Gender Gap Index =GGGI)とは

男性と女性の格差を表す指数で、2006 年の「世界経済フォーラム(ダボス会議)」で創設された。男女格差の解消が世界経済の発展につながるとして、格差解消に役立つ資料として、国別・地域別に、経済・政治・教育・健康維持の 4 項目を算出根拠としている

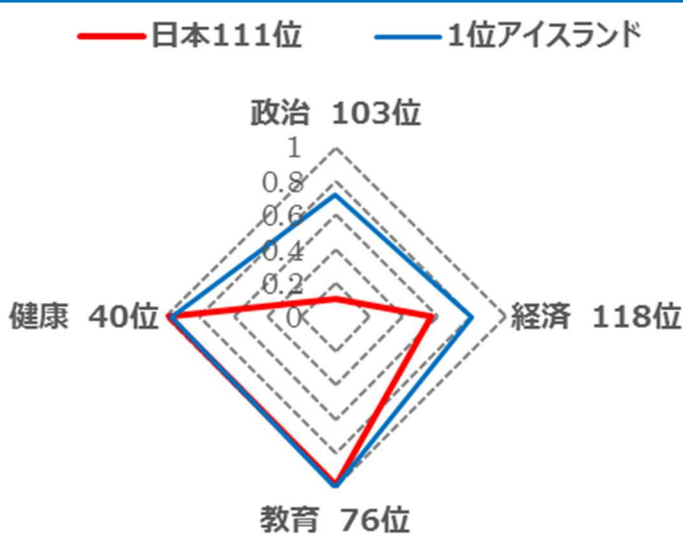
日本の現状 2016 年データ

分野	ギャップ指数	順位
政治	0.103	103 位
経済	0.569	118 位
教育	0.990	76 位
健康	0.979	40 位
総合	0.660	111 位

****日本のジェンダーギャップ指数推移****

年	総合	政治	経済
2016 年	111 位/144 か国	103 位	118 位
2015 年	101 位/145 か国	104 位	106 位
2014 年	104 位/142 か国	129 位	102 位
2013 年	105 位/136 か国	118 位	104 位
2012 年	101 位/135 か国	110 位	102 位
2011 年	98 位/135 か国	101 位	100 位
2010 年	94 位/134 か国	101 位	101 位
2009 年	101 位/134 か国	110 位	108 位
2008 年	98 位/102 か国	107 位	102 位
2007 年	91 位/128 か国	94 位	97 位
2006 年	80 位/115 か国	83 位	83 位

GGGI 2016
4 つの項目すべてが男女平等であれば「広い正方形」になるはずだが、下記のグラフの赤いラインが日本の評価である。



□資料代 1,000 円 BPW 会員 500 円

□申込み 「2/25 参加希望」と明記の上、「氏名」・「連絡先(E-mail or TEL or FAX)」をご記入いただき、下記まで E-mail または FAX でお申し込みください。先着順定員 60 名

E-mail sympo2017@bpw-japan.jp FAX 03-5304-7876

主催 特定非営利活動法人日本 BPW 連合会
後援 クオータ制を推進する会

BPW とは Business and Professional Women の略で、働く女性の利益を促進し、女性の社会的地位と職業水準の向上をはかるとともに、国内および国外の働く女性の親交と理解を深め、世界平和に寄与することを目的とした団体です。国連の経済社会理事会の諮問機関として一般協議資格をもつ NGO(非政府組織)の団体 BPW International に加盟。国内では全国に 17 のクラブとアソシエーツがあります。私たち BPW は、これまで 3 回、この GGGI 指数を基に、「政治・経済・教育・健康」という GGGI の評価 4 項目の専門家を交え、どうすれば格差を縮小することが出来るかを考えるイベントを開催し、提言をまとめて関係方面に手渡してきました。

特定非営利活動法人 日本 BPW 連合会 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-21-11 婦選会館 303
TEL:03-5340-7874 FAX:03-5340-7876 E-mail office@bpw-japan.jp URL <http://www.bpw-japan.jp/>

パネリスト・コーディネーター紹介

(敬称略)

【政治】川橋 幸子(クオータ制を推進する会)

1961年東北大学法学部卒業。旧労働省、旧総理府、所沢市(助役)勤務、1992年参議院議員(2期12年)。引退後、NPO法人経営を経て、2012年よりWIN WIN 推薦運営委員。2012年発足の「クオータ制を推進する会」の実務的責任者として政治の分野におけるクオータ制の推進に活躍。『クオータ制の推進をめざす』WIN WIN 編著(第4章担当)(パド・ウィメンズ・オフィス発行2013年)

【経済】名取 はにわ(NPO 法人日本BPW連合会理事長・元内閣府男女共同参画局長)

1995年、総理大臣官房男女共同参画室長として、国連北京女性会議に参加し、以降 男女共同参画社会基本法の成立や、内閣府男女共同参画局長として第2次男女共同参画基本計画の策定など、多くの時間を男女共同参画の政策作りの責任者として携わってきた。2013年より日本BPW連合会の理事長として、男女の賃金格差の解消をもとめる【イコールペイデー運動】や企業経営者の理解を求める活動(WEPs)等に取り組む。

【教育】中野 洋恵(国立女性教育会館 研究国際室長)

大学院修了後、(財)日本青少年研究所、恩賜財団母子愛育会で家庭・家族に関する調査研究に従事。1993年から国立婦人教育会館(現国立女性教育会館)の研究者として男女共同参画を推進するための調査研究を企画、実施。国立女性教育会館が3年ごとに刊行している『男女共同参画統計データブック』には2003年の創刊号から編集に関わる。最新版(2015年版)では「教育と学習」を執筆。その他、女性のキャリアに関する調査研究、大学の男女共同参画に関する調査研究等に従事。

【健康】藤川 真理子(医師、薬剤師、東京女子医大非常勤講師)

薬剤師・医師。1980年、国際医学生連盟活動で滞在したデンマークにおいて、女性医師の地位や就労環境に関して、男性優位な日本の医学界との彼我の差に衝撃を受ける。2010年より世界標準の女性医師育成を目指し女子医学生と若手女性医師による日本女医会 MsACT 活動に取り組む。臨床の専門は糖尿病。2005年より東京都医師会生活習慣病対策委員。2012年より厚生労働省地域の健康増進推進活動支援事業評価委員会構成員、BPW 会員。

【コーディネーター】平松 昌子(NPO 法人日本BPW連合会元会長、現企画委員長)

放送業界で30年、情報誌の業界で約5年、働き続けた。この間常に向き合ったことは「女性は、女であるということだけでいつも損をしているのではないか」という疑問。今もそれが解決しないままNGO活動として「女性が人間として生きるために」というテーマを抱えて走っている。第59回CSW 日本政府代表団顧問 国連 NGO 国内女性委員会副委員長。

『女ひとりヴェトナムに行く』(講談社、1965) 『女がメディアで生きる』(ドメス出版、2013) 他

会場アクセス



JR 線
新宿駅南口・新南口
代々木駅北口・下車 徒歩7分

小田急線 南新宿駅下車 徒歩3分
地下鉄都営新宿線・大江戸線 新宿
駅 A1 出口下車 徒歩3分

